

**11/9 全日本自動車整備技能競技大会  
西澤祐輔さんらが全国大会優秀賞**

自動車整備士の技術力を競う「第22回全日本自動車整備技能競技大会」が東京都で開催され、西澤自動車の西澤祐輔さん(森下下)が、金子英樹さん(沼田市利根町)とともに群馬県代表として出場し、優秀賞を受賞しました。(一社)日本自動車整備振興会連合会によるこの大会は、接客も含めた総合的な整備サービスを競うもの。全国から51チームが参加しました。西澤さんは「整備の早さや正確さだけでなく、お客様目線で仕事をする上で多くのものを得られました」と語りました。



「応援して下さった皆さんに感謝です」と西澤さん

**★ 群馬県建設工事表彰  
石坂建設(株)が20年連続受賞**

石坂建設(諸田光二社長)が、群馬県建設工事表彰で知事表彰など20年連続で受賞しました。また、受賞した工事の一つが(一社)日本治山治水協会主催の第35回国有林治山工事コンクールで優秀賞を受賞しました。

諸田社長は「大切な税金を使う公共事業で、社員や協力会社が妥協せず質の高い仕事に毎年取り組んできた結果、20年続けて表彰をいただくことができました。これも村民の皆さまや関係官庁のご理解ご協力のたまものだと思っています」と思いを語りました。



「今後も仕事を通じ郷土に奉仕していければ」と諸田社長

**1/16 群馬県市町村広報コンクール  
「広報しようわ」が2年連続県2席受賞**

群馬県主催の市町村広報コンクールの広報紙部門町村の部で、広報しようわ6月号が2席を受賞しました。本号では、元号が令和に改元され、創刊600号を迎えたことから、平成時代を広報しようわで振り返る企画を特集。審査員からは「企画が面白く、表紙はみんな笑顔でうれしそう」と講評をいただきました。また、写真部門でも10月号の表紙写真が3席に選ばれました。

取材への皆さまのご協力に感謝いたします。これからも親しみやすい紙面づくりを心がけていきます。



↑ 広報紙の部で2席となった  
広報しようわ6月号



写真の部で3席となった  
↓ 同10月号の表紙写真

**12/1 会長杯群馬県バレーボール小学生大会  
昭和スピードが見事優勝**

第35回会長杯群馬県バレーボール小学生大会が行われ、昭和スピード(綿貫誠治監督)が見事優勝しました。

大会は、県内在学の小学生が所属する83チームが11組に分かれて対戦。高崎榛名体育館で行われた混合8組に出場した昭和スピードは、決勝戦で美土里小(藤岡市)に勝利して優勝に輝きました。キャプテンの太塚百香さん(沼田川田小6年)は「声をかけ合って勝ててうれしかったです」と話し、綿貫監督も「選手が一丸となり、練習の成果が出ました」と喜びを語りました。



優勝した昭和スピードの皆さん

1/12 道の駅めぐりーむ昭和でどんどん焼き  
無病息災祈り込め

道の駅「めぐりーむ昭和」で、恒例のどんどん焼きが行われました。やぐらには各家庭から持ち寄られただるまやお正月飾りが積まれ、午前11時に点火。燃え上がる炎とともに白い煙が勢いよく立ち昇りました。



盛大に行われたどんどん焼き

1/20 第一保育園で座禅教室  
静かに目を閉じ座禅体験

川龍寺(貝野瀬)副住職の河野太一さんと戸村節子さん(大堀)が第一保育園に来園し、座禅体験教室を行いました。園児は、河野さんによる座禅体験のほか、戸村さんによるペープサート(紙人形劇)を楽しみました。



副住職の河野さんのお話を聞きながら目を閉じる園児たち

1/25 昭和村スキー教室  
真っ白なゲレンデを滑走

村体育協会による第42回スキー教室が、かたしな高原スキー場(片品村)で開催されました。教室には24人が参加、技術のレベルに合わせて丁寧なレッスンが行われ、参加者はゲレンデを楽しく滑走していました。



ゲレンデを滑走する参加者

1/2 令和弥生茶会「初釜の席」開催  
昭和の湯で「いこい」のひととき

スタジオ・ガク(佐藤光男代表)は、村総合福祉センター「昭和の湯」で茶会「初釜の席」を開きました。茶会は、村社会福祉協議会や村内の県茶道会員の協力で行われ、参加者は「いこい」の時間を楽しみました。



茶会であいさつする茶道会員ら

1/17 村安全会女性部マスコットづくり  
交通安全の願い込め

交通安全を呼びかけるための、交通安全のマスコットづくりを村安全会女性部(中島久美子部長)が行いました。完成したマスコットキーホルダーは、入学式や入園式に会員を通じて配布されます。



一つひとつ手作業で行われたマスコットづくり

1/24 第二保育園で伝統芸能の体験教室  
獅子舞と南京玉すだれを体験

「上州沼田祝い隊」の長門賢二さんが第二保育園に来園。新年に縁起のよい獅子舞と南京玉すだれを披露しました。園児たちは、長門さんの手ほどきで南京玉すだれに挑戦。上手に「柳」を完成させていました。



伝統の南京玉すだれを体験する園児たち